

校訓 『高く 大きく 美しく』

教育目標

「誇り高く 夢大きく こころ美しく
よりよい社会を創ろうとする生徒の育成」

中村中学校 学校通信 NO.10 2023.9.21 発行 Tel 0880-34-4137: 文責 山崎利彦

今年度の運動会のテーマ “Over the Top ～限界を超えろ～”を意識して

～仲間とともに取り組んだ力をこれからの学校生活の向上につなげよう～

9月10日(日)、天気が心配された中でしたが、無事に全競技を実施することができ、運動会を終えることができました。生徒の前向きさや一生懸命に取り組もうとする姿が各競技で見られたことはもちろん、雨でグラウンドがぬかるんできた時には保護者の方にもグラウンド整備にご協力いただいたことに感謝申し上げます。また、駐車場の案内やテントの片付けにもご協力をいただき、改めてお礼を申し上げます。

半日開催となった運動会ではありますが、**今年度は保護者等の入場制限は設けずに実施した運動会**でした。少し運動会の取り組みを含め、当日を振り返りながら感想を書いてみたいと思います。

今年は3年生が5クラスあることから、黄色、ピンク、紫、オレンジ、黄緑の5色でチーム編成！夏休みから応援団やダンスリーダーの生徒が中心となって取り組み、**2学期に入ってから練習も生徒の力で多くを実施**しました。チームをしっかりとめたい！というリーダーの思い、また日々の練習からしっかり取り組みたいという生徒の姿勢が多く見られたことが、私にとってうれしいことでした。

そんな取り組みを経て運動会本番、**各色の応援も見ごたえがありました**。優勝は紫色、応援賞は僅差でオレンジ色となりましたが、本当にどの色にも**ベストカラー賞をあげたい**くらいでした。

もう一つ印象的だったことが、昨年度と同様に勝敗は別にして、運動会終了後の生徒のすがすがしさです。生徒たちは、**各色で一生懸命に取り組む、仲間を応援し、共に協力し、そしてお互いをたたえ合い、“皆でやっ**



て楽しい！”という雰囲気を作ってくれたように感じました。このような学校行事が貴重な中学校の思い出の一場面となったなら本当にうれしい限りです。

生徒の皆さん、お疲れ様でした！

さて、学校行事で発揮できる力を**自分の成長の力にすることが**これから大事です。仲間と共に高め合おうとする姿勢は、**普段の教室での授業も同じこと**です。

生徒には、学級で協力して日々の授業で教科の力を高めてほしいといつも思っています。運動会の取り組みを見ていると、その力を本校の生徒は十分に持っていることがわかります。授業の中で**学び合おう、教え合おう**、そして、学級の中で**お互いが高め合える授業を成立させよう！**が私の願いです。そして、学校行事で元気に声が出せる生徒に育ったら、普段の生活の中で“おはようございます”や“こんにちは”が相手に伝わる声でしっかりできる生徒に育ててほしいと思っています。それが、“当たり前のことを当たり前にする”ということだと思っています。

生徒の皆さん、これからも学校生活を充実させ、10月中旬の文化祭では、今年もすばらしい歌声がきけることを楽しみにしています。



全国学力・学習状況調査結果の報告

今年4月に実施された全国学力・学習状況調査（3年生対象）の結果が、7月末に学校に届いていました。少し報告が遅くなりましたが、今年度の3年生の状況をお伝えしたいと思います。

今年度は、例年行われている**国語と数学**に加え**英語**が実施され、**3教科で実施**されました。結果を受けて校内で分析し確認したこともありますので、学校の学力向上に関わる取組を少し紹介します。

対象学年 中学3年生	下の数値は平均正答率(%)を示しています		
	国語	数学	英語
中村中学校	74.0	59.0	41.0
高知県(公立)	68.0	49.0	39.0
全国(公立)	69.8	51.0	45.6
高知県との差	+6.0	+10.0	+2.0
全国との差	+4.2	+8.0	-4.6

この学力調査は、児童・生徒の学習状況の把握を通して、学校としての取組の検証や授業改善を図ることを目的に行われています。本校も、これまでの学習指導がどうであったのかという視点で検証軸として学力調査を位置づけ、調査に臨んできました。学校では、「**生徒に全国と同等かそれ以上の学力をつける!**」ことを念頭に、数値的には「**全国平均よりも+4ポイント以上**」を目指して取り組んでいます。

本校は、平成28年度にほぼ全国平均という結果を残してからは、毎年全国平均を超えるようになりました。その要因は、学校として授業改善の営みを継続していることや、課題があった内容を把握し、指導に活かす教育活動の営みが定着していることが考えられます。しかし、何といたっても生徒の意識や意欲の向上が土台にあることが大きいと考えています。記述式の問題も多いのですが、本校の無解答の割合は非常に低く、多くの生徒が自分なりの解答を書こうと努力している姿が浮かび上がってきます。

私たちは、個別の知識を知っているというだけでなく、その**知識を活かして課題解決を図ることや他者と協働すること、粘り強く取り組めることを生徒に身につけさせたい**と考えていますが、そのような力をつけるためには、一方的に説明を聞いて覚えるだけの授業では養えないと考えています。今後も“思考力・判断力・表現力”を高める授業づくりに取り組み、継続して授業の質を高められるよう頑張りたいと思います。



一方で英語の課題が顕著になったことも今回の特徴です。県平均より高かったものの全国平均との差が大きく、今後、改善の手立ても必要だととらえています。英語科は生徒同士で問答したり、自分の考えを言い合ったりする活動は、他校と比べても随分取り組んでいると生徒質問紙に出ていますので、授業の方向性は大事にしながら、書くことや文法的な間違いを少なくすることを意識した指導を継続していきたいと思います。

いずれにせよ、課題をそのままにしないことが大切なことですので、各授業の中で生徒に身につけさせたい力をしっかり意識した授業づくりを進めていきたいと考えています。個人票は、後日配布予定ですので、ぜひ確認ください。

<生徒の課題は「学習時間」の短さ…>

この調査には、約90問近くの生徒質問紙がついており、学校生活や学習状況について生徒の考えや実態がつかめるようになっていきます。生活習慣や教師との関係性、教科指導の有用感などは、本校は非常にいい傾向となっていました。『1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか？(塾等も含める)』という家庭学習時間の設問は以下の通りとなっており、家庭学習の時間の短さが表れています。家庭学習、頑張ってください！

